## 第18番 恩山寺

- ●徳島県小松島市田野町恩山寺谷40 ☎0885-33-1218
- ●宿坊/なし



#### 第19番 立江寺

- ●徳島県小松島市立江町字若松13 ☎0885-37-1019
- ●宿坊/あり(要予約)



# 沿線の見どころ



#### みはらしの丘 あいさい広場

徳島市内から国道55号を南へ 進み赤石トンネルを抜け、一つ 目の信号を右折すると小高い 丘の上にある県内最大級の産 直市。生産者から届く旬の新鮮 な野菜や果物をはじめ、小松 島の特産品、お米パン、たまご プリンなどが店頭に並び、毎日 地元の人たちで賑わう。丘の上 からの眺めも気分を爽快にして くれる。

所徳島県小松島市立江町炭屋ヶ谷47-3 ☎ 0885 • 38 • 0112

営8:30~17:30

休無休(年末年始を除く)



## 竟内の見どころ



#### びらん樹

女人禁制とされていた寺へ訪 ねてきた母君を迎え入れるた め、大師が修行したとされる川 のそばに植えられた木。暖地に 生育するため常緑で他所に比 べて背の高いのが特徴だ。修 行の末、女人禁制を解いたの を記念し、大師自らが植えたと 伝えられている。昭和29年 (1954)に徳島県の天然記念 物に指定されている。



# 境内の見どころ



## 玉依御前の剃髪所

修行中の大師に会うため、讃 岐の地からはるばる旅をして やってきた大師の母君・玉依御 前を祀ったお堂。母君はここで 髪の毛を剃り、お堂の中にはそ の時の髪の毛が納められてい る。「たらちねの母こそしのぐ恩 山寺大師の利生(りしょう)あら たなりけり との御詠歌がかけ られている。







日本遺産

# 日本遺産「四国遍路 | ~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全 長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が 1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道 や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風 景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の 聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温 かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡 を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



ぼようざん ほうじゅいん おんざんじ

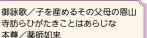
# 大師の母君への孝行を伝える寺

#### 歴史•全体像

元々は行基が厄除のために建立した、大日 山福生院密厳寺という女人禁制の寺であっ た。その後100年余りを経て、弘法大師が滞在 して修行をしている時、大師の母君である玉依 御前(たまよりごぜん)が訪ねて来られた。しか し、この山は女人禁制であったため、大師はひ と七日(一週間)滝に打たれ修行をし、女人解 禁の秘法を修められた。そうして大師はやっと 母君を迎え入れ、この寺で孝行を尽くしたとい われている。赤い欄干の橋の下に植えられて いるびらん樹は、この時大師が修行をした場所 を示している。また、大師の母君はこの寺で髪 の毛を剃って出家した。その髪の毛は剃髪所に 納められている。

## 境内

駐車場から徒歩約1分、参道を進むと樹 齢約300年の大イチョウや、樹齢約350年 のソテツなど立派な木々が生い茂る境内へ とたどり着く。納経所では、四国霊場の中で 唯一、恩山寺だけに伝わる「摺袈裟(すりげ さ)」が人気である。別名「袈裟曼荼羅」とも 呼ばれる珍しいお守りで、所持すれば滅罪 生善(悪いことを良いことに変える)の功徳 があるという。また、大師堂には大師が自ら の像を彫刻されたものを本尊として安置。 人々に福が訪れ、厄難を免れ、詣った者のい かなる罪も消えるように、と祈願しながら彫ら れたという大師像だ。



真言/おん ころころ せんだり まと うぎ そわか

宗派/高野山真言宗 開基/行基菩薩









日本遺産

